

# 市有地売却先質問相次ぐ

## 福岡市議会 医療専門学校など計画

福岡市は20日、同市博多区の学校法人「高木学園」(高木邦格理事長)に「シーサイドもち」の市有地約2万3000平方メートルを56億円で売却する議案を市議会に提案した。高木学園は専門学校「福岡国際医療福祉学院」(福岡市中央区)を運営、学院長は山崎広太郎市長の後援会代表が務めている。議会では、複数の議員が「売却で便宜を図ったのではないか」などと相次いで質問、市側は「(後援会代表は)法人経営には関係なく土地価格も適正」と反論した。

市港湾局によると、売却するのは、1986年に埋め立てが完了した同市早良区百道浜の「シーサイドもち」の土地。中学校用地

# 市長後援会代表 学院長の法人

## 56億円 市「価格は適正」と反論

として確保していたが、少子化で生徒増が見込めなくなったとして売却を決定。昨秋に開発事業者を公募し、今月17日、高木学園に56億円(1平方メートル当たり約24万円)で売却する仮契約を結んだ。

学園と、高木理事長が理事長を務める医療法人社団「高邦会」(福岡県大川市)が、法人傘下の福岡中央病院(福岡市中央区)や同学院などを移設し、病院(1階)と学校(8階)、福祉施設(3階)の3棟を整備する計画。学院長は山崎市長の後援会「福岡市民の会」代表で、昨年3月まで福岡中央病院長も務めていた。

この日、代表質問に立った6人の議員のうち、5人

が市有地売却について質問。星野美恵子議員(共産)は「周辺では1平方メートル30万〜40万円で売却した土地もあり、もっと高く売るべき」、高山博光議員(平成会)は「教育・福祉関係に限って公募したのに、延べ床面積の7割が病院なのは不自然。巧妙に便宜を図ったのでは」と指摘した。

山崎市長は学院長との関係を問われ、「医者で、高木学園の経営をつんぬすることはありえない」と答弁。市港湾局は「土地価格は、市不動産価格評定委員会が基準地価や公示価格、取引事例などを基に公正に決め、地元住民や学識者も入った委員会で売却を決定した」としている。

売却価格について、地元不動産業者は「戸建て住宅に比べると安い印象を受ける。ただ、取引面積が広いと単価が下がるため、単純には比較しにくい」と話している。土地売却をめぐるのは、住民が「中学校建設を見込んで住宅を買ったのに、病院建設で眺望が損なわれる」と反発。市医師会も「新病院建設は医療供給過多をもたらす」と市に反対の陳情書を提出している。

# 福岡市議会

## 市有地売却など可決

### 「便宜供与」と追及討論も

福岡市議会は23日、約47億円の05年度一般会計補正予算案や、ベイサイドプレイス博多埠頭を運営する第三セクター「サン・ピア博多」の経営破綻による約3億5千万円の債権放棄のための議案など26議案を原案通り可決した。このうち早良区の埋め立て地「シーサイドもち」の市有地を売却する議案については、山崎広太郎市長の後援会の代表に対する便宜供与ではないかと追及する反対討論もあった。

福岡市議会は23日、約47億円の05年度一般会計補正予算案や、ベイサイドプレイス博多埠頭を運営する第三セクター「サン・ピア博多」の経営破綻による約3億5千万円の債権放棄のための議案など26議案を原案通り可決した。このうち早良区の埋め立て地「シーサイドもち」の市有地を売却する議案については、山崎広太郎市長の後援会の代表に対する便宜供与ではないかと追及する反対討論もあった。

市有地売却の議案は、約2万3千平方メートルを学校法人「高木学園」（博多区、高木邦格理事長）に56億円で売却するもの。同学園はここに、理事長が同じ医療法人社団「高木学園」（大川市）と、医療福祉系専門学校や在宅総合サービス施設、病院を建設し、09年3月に事業を始める計画だ。高木学園が運営する専門学校の学院長は、山崎市長の後援会の代表で、02年の市長選で選対本部長を務めた。このため反対討論では、「市長選で功労があった代表に便宜を図るもの」「土地の価値が周辺に比べて安いのではないか」といった声が上がった。こうした指摘に対し、山崎市長は20日の本会議で、後援会代表について「学生時代からの友人」と説明。さらに、「彼は医者なので、経営のことは分からない。彼が高木学園の経営をうんぬんするということはあり得ない」と答弁した。

市有地売却の議案は、約2万3千平方メートルを学校法人「高木学園」（博多区、高木邦格理事長）に56億円で売却するもの。同学園はここに、理事長が同じ医療法人社団「高木学園」（大川市）と、医療福祉系専門学校や在宅総合サービス施設、病院を建設し、09年3月に事業を始める計画だ。高木学園が運営する専門学校の学院長は、山崎市長の後援会の代表で、02年の市長選で選対本部長を務めた。このため反対討論では、「市長選で功労があった代表に便宜を図るもの」「土地の価値が周辺に比べて安いのではないか」といった声が上がった。こうした指摘に対し、山崎市長は20日の本会議で、後援会代表について「学生時代からの友人」と説明。さらに、「彼は医者なので、経営のことは分からない。彼が高木学園の経営をうんぬんするということはあり得ない」と答弁した。

# 市有地売却相手と市長

## 市議が関係追及

20日開会した福岡市議会で、早良区百道浜3の市有地「シーサイドもち」の売却相手と山崎広太郎市長との関係などを追及する質問が出た。星野美恵子議員（共産）が取り上げた。

この市有地（約2・3畝）は市教委が中学校用地として確保していたが、人口増が望めないため売却が決まり、共同事業を提案した学校法人・高木学園（博多区、代表

事業者）と医療法人社団・高邦会（大川市、構成事業者）が56億円で購入することが内定している。

星野議員は、市港灣局が昨年、開発計画を募集したが、最終的に高木学園しか応募しなかった経緯は不自然とし、同学園の経営する専門学校院長が山崎市長の後援会代表者であることとの関係を追及。山崎市長は「学

院長は、信頼し合った友人。彼が（学校や医療法人の）経営に入ることはないと考える」と述べる

毎日新聞

にとめた。

この日開会した市議会定例会は、総額約47億円の一般会計補正予算案など26議案を上げ、第三セクターのサン・ピア博多の再生に伴う約3億5000万円の債権放棄も議案となっている。

【安達一成】

### 市長選の論功行賞否定

#### 市有地売却問題で福岡市長

市議会開会

二十日に開会した福岡市の二月定例会市議会は、約四十七億円の本年度一般会計補正予算案など計二十八議案を上げ、議案質疑では、地行・百道地区の市有地を博多区の学校法人「高木学園」に約五十六億円で売却する議案をめぐる、議員から質問が相次いだ。

補正予算案の主なもの

は、福岡外環状道路整備など国直轄工事費の負担金（二十億五千五百万円）、下水道施設の耐震診断やアスベスト（石綿）除去対策に充てる公共下水道整備費（五億四千四百万円）など。

長の後援会代表者を務めていることに関連して、議員から「市有地の売却は、二〇〇二年の市長選の論功行賞ではないか」との質問が飛んだ。これに対し、山崎市長は「学院長は信頼し合った長年の友人」と説明したうえで「高木学園は非常に大きな組織。（学院長は）教育機関の責任者で、経営に携わることはない」と述べ、学院長との付き合いと市有地売却との関係性を否定した。

毎日新聞

3億5000万円の債権放棄提案  
三七ウ破綻で福岡市  
福岡市議会の定例会は20日開会し、「ベイサイドプレイス博多埠頭」(博多区)を運営する三セク「サン・ピア博多」の経営破綻を受けた約3億5000万円の債権放棄の議案が提案された。会期は3月28日までの37日間。06年度当初予算案は24日、提案される。

億5千万円の債権放棄のための議案や、約47億円の05年度一般会計補正予算案など26議案が提案された。会期は3月28日までの37日間。06年度当初予算案は24日、提案される。

ほかに、早良区の埋め立て地「シーサイドもち」の市有地約2万3千平方メートルを学校法人「高木学園」に売却することへの承認案、博多埠頭1海中道を結ぶ市営渡船の定期航路を3月末で廃止する条例改正案も上程された。

毎日新聞